

WWL・SGH×探究甲子園にて 発表しました

3月21日（日）、理科部2年の河原 正堂 さんと太田 誠也 さんがWWL・SGH×探究甲子園（主催：関西学院大学、大阪大学、大阪教育大学）の探究活動プレゼンテーション（日本語）の部に参加しました。

これは、SDGs（持続可能な開発目標）に関するテーマについて、収集した情報等を用いて考察・提案するもので、事前の書類審査を通過した30チームが当日のオンラインでのプレゼンテーションを行いました。

2人は11月の県科学研究発表大会で最優秀賞を受賞後も、オキヒラシノミガイの食性や越冬地などの調査・研究に取り組んできました。コメントータの先生からは、絶滅危惧種であるオキヒラシノミガイについて、いくつかの新知見が得られており、素晴らしい研究であるという評価をいただきました。同時に、得られた知見をもとに具体的にどのような行動を起こすのかについて、考え取り組んで欲しいというコメントもいただきました。2人によると、行政機関への働きかけはもとより、子ども科学教室などを通じ小学生やその保護者の方を対象に啓発活動を行うことを計画しているということでした。発表後は、他校の発表者等とのディスカッションを行い、互いの見識を深めました。

7月に和歌山県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場が内定している2人ですが、今回の発表を通じ一層の深まりが期待されます。

